



日本英語交流連盟
The English-Speaking Union of Japan

2016 年度 第 19 回大学対抗英語ディベート大会

【英国ディベート体験ツアー】報告書

賞品 提供：日本英語交流連盟 協賛：ANA ホールディングス株式会社

東京大学 1 山岸拓真

今回私は奇遇にもディベート体験ツアーに参加させていただくことになりました。本来は 2016 年度 ESUJ 大学対抗英語ディベート大会の優勝者に贈られるツアー参加権ですが、優勝者の一人が参加できなくなったために準優勝者の私に機会が訪れたのです。準優勝者にはデジタルカメラが贈られたので、私は両方とも頂けてとても幸運でした(笑)。旅程としては、2月1日にロンドンへ到着し、4日にパリへ移り、6日にストラスブールを訪れ7日に帰国しました。もう少しゆっくりしたかったのですが、元々8日から2週間のアメリカ旅行を予定していたので残念ながらヨーロッパ旅行は1週間となりました。就職直前ということで、時間のある内に必死で長期旅行をしました(笑)。

ディベート体験ツアーということで、2日に London School of Economics and Political Science (LSE)の練習に参加させていただきました。前述の大会に招かれていた Sophia Rodriguez さんに連絡を取ったところ、練習参加を快諾してくださったのです。世界大会本選の常連である LSE で練習することに戦々恐々としていたのですが(笑)、みなさんととても温かく迎えてくださりました。練習はまずコーチのような人がレクチャーをするところから始まり、その日は British Parliamentary Style のディベートにおいて Opening Government というポジションからいかに勝つかというテーマでした。印象的だったのは、話の前提が世界大会やヨーロッパ大会でいかに勝つかにあることで、さすが世界の強豪校だなと感じました。後で知ったのですが、実はそのコーチは Joe Roussos さんという、世界大会の副審査委員長やヨーロッパ大会の準優勝者の方だったのです。レクチャー後のディベートでは Joe さんもディベーターとして参加し、平然と1位をかつさらっていきました(4チーム中私のチームは3位でした 笑)。Joe さんのチームの議論は鋭い論理と詳しい知識に裏打ちされたもので、確かにこのような環境で練習できれば世界レベルの実力は養成できるだろうなと感じました。それと同時に、彼らの議論は私にも理解できるような合理性と明瞭性を備えており、自分とは全く異次元の世界ではないと確認できたのも良かったと思います。練習の後は毎回近



日本英語交流連盟

The English-Speaking Union of Japan

くのパブに行くとのことで、私も参加させていただき楽しく談笑してその日を終わりました。

3日にはESUJ大会優勝者の藤田先輩と共に、ESU本部のWilliam Stilemanさんを訪問しました。勝手にご年配の方を想像して緊張していたのですが、意外とお若い方で話しやすいように感じました(笑)。Williamさんは私たちがディベートを始めたきっかけや学業のこと、将来のことなどについて興味ありげに聞いてくださりました。また、英語を使えることが学業・ビジネス・社交など様々な場面で重要であり、世界の人々をその点でサポートすることがESUの役割であると語っていただきました。ESU本部のあるDartmouth Houseはとても立派な建物で、会長と思われる方がエリザベス女王と一緒に映っている写真も飾ってあり、イギリスにおいて英語を普及することが重要な任務として扱われていることが感じられました。

ディベートに関連する内容は以上ですが、私にとって初めてのヨーロッパ旅行となったこのツアーはとても印象深い体験でした。特に、とても広範囲にわたって伝統的な街並みが保存されているパリは圧巻でした。ロンドン、パリ、ストラスブールの三都市を巡って、美しい街並みには河川との調和がとても重要だと感じました。例えば東京の都心部では河川は暗渠になっているか、流れていても街並みと調和していることは少ないように思います。その点京都は伝統建築と河川が共存しているため観光都市としての競争力があるのでしょうか。このような形で、他国の美点を知ることで自国のことがより良く理解できたことも今回のツアーの収穫と言えると思います。

最後に、今回このような貴重な機会を提供してくださったESUJの皆様には感謝申し上げます。特にツアーの手配や内容面での助言をしていただいた吉野様には大変お世話になりました。また、協賛いただいたANAホールディングス株式会社様にも御礼申し上げます。長時間のフライトでしたが、搭乗員の方々の懇切丁寧な対応と機内食とは思えない美味しい食事のために快適に旅をすることができました。皆様ありがとうございました。

東京大学教養学部4年